

# 財政説明会に伴うアンケート結果及び質疑応答 (令和3年7月4日～10日開催)

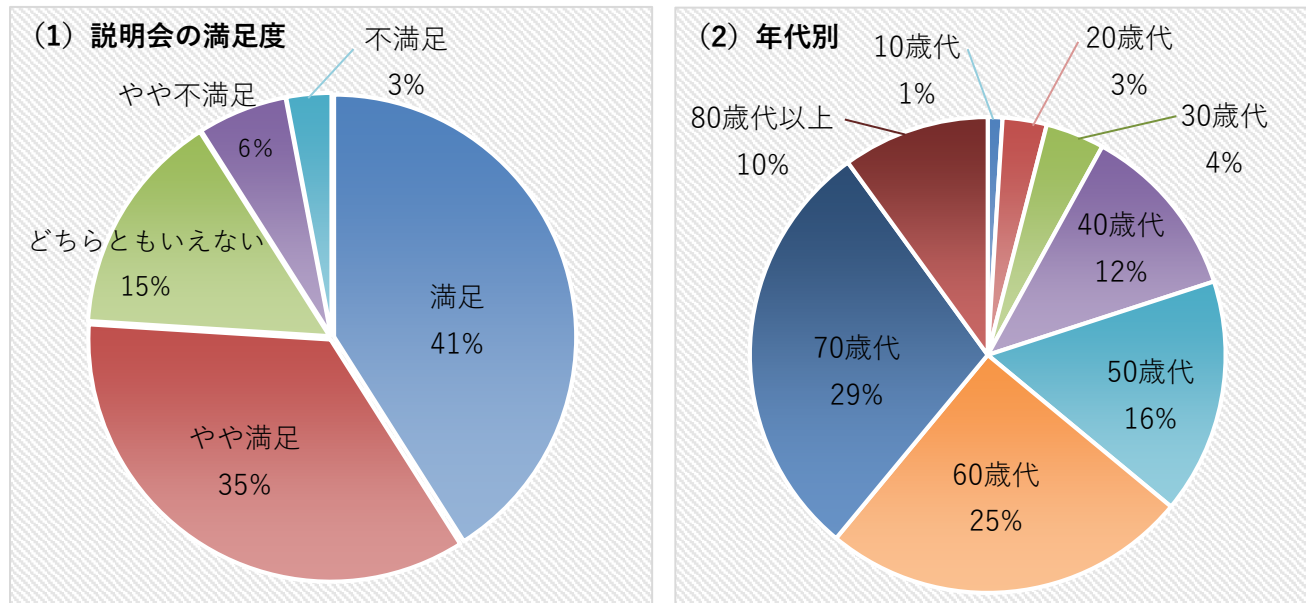
## 1. 参加者数及びアンケート回答数

	7/4 アージュ	7/6 フォルテ	7/7 まなび	7/8 アージュ	7/9 みらい	7/10 ミューズ	7/10 パラッツォ	合計
参加者数	106	79	32	60	59	84	73	493
アンケート 回答数	96	73	31	57	58	74	66	455

※アンケート回答率 92.3%

アージュ (クリスタルアージュ)、フォルテ (八千代文化施設フォルテ)、まなび (美土里生涯学習センターまなび)、みらい (向原生涯学習センターみらい)、ミューズ (甲田文化センターミューズ)、パラッツォ (高宮田園パラッツォ)

## 2. アンケート回答結果



## 3. 主な質疑応答

説明会の中であった主な質疑応答は、つぎのとおりです。

(1) 質問：令和元年度の経常収支比率<sup>\*</sup>は98.2%ですが、今後の目標数値を教えてください。

回答：目標数値は90%です。つまり、10%は自由に使えるお金があるという状態にします。財政に余力をつくって、自由な発想で、まちづくりができるよう、次世代に引き継ぎたいと考えています。それが、安芸高田市の魅力につながると捉えています。

<sup>\*</sup>経常収支比率：経常的な収入（市税、地方交付税、譲与税・交付金など）のうち経常的な支出に充てられている割合。経常収支比率が高いほど財政が硬直化している状態を指す。

(2) 質問：財政が厳しい中、今後、上下水道料金の値上げについて教えてください。また、今後の水道事業について教えてください。

回答：受益者負担の原則に基づいた上下水道料金に見直すと、安芸高田市民一人当たり、年間約2万7千円値上がりすることになります。全額を転嫁するのは現実的ではありませんが、できるだけ使用量に応じて負担していただくようにすべきだと思っています。また、今後の水道事業は、ひとつの自治体だけで整備すると非効率なので、他の市町と広域化する方針です。

問い合わせ先  
安芸高田市 企画振興部 財政課  
電話：0826-42-5623